

国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

会長 古田 和彦
副会長 秋元 美晴
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) 利根川 恵子 (川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 立花 明美

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに会う！」

湘南・沖縄部部長 (DG) 黒川 勝 (金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題：「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長 (CP) 古田和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」

<今月の聖句>

佐竹 博

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。」

詩編 37:23-24 (新共同訳 旧約聖書 869 ページ)

今月の一言

「新しい年度を迎えて」

古田 和彦



2023-24 年度の会長を拝命しました。そして、新年度のクラブ主題を「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」と考えました。どのクラブも会員の高齢化に伴い、担い手の不足に悩まされています。その打開のため、新しい会

員の獲得が必須であるとも言われています。私も、もちろん、新会員を一人でも多く迎えたいですが、そのためには、現会員がクラブライフを通して、楽しさ、やりがい、充実感をもてることが大切ではないかと考えます。私たちが支援する YMCA の活動は多岐にわたっておりますので、ワイズメンズ

クラブの活動も幅広く多くの分野で行われています。その多くに関わることができる人はそれで素晴らしいことですが、場合によっては、自分の「できる範囲で」いいんだとおきたいと思ったわけです。ワイズメンズクラブは、任意のサービスクラブですから、それぞれの事情や興味により、できる範囲の奉仕でよいのではないのでしょうか。翻って考えますと、ワイズメンズクラブの会員となるということだけで、献金を通して、世界のワイズメンと連帯して世界平和と地球的課題解決 (RBM によるマラリア撲滅活動や TOF による発展途上国支援など) に参加していますし、横浜 YMCA ・地域社会への支援をしていることも覚えておきたいと思えます。

次に、私たちのクラブが力を入れている外国人留学生支援ですが、9月1日には、スピーチコンテストが行われます。チューター活動や交わりを深め、外国人留学生が真に望んでいる支援を模索していきましょう。また、ウエルカムフェスタやチャリティーランでは、楽しく奉仕を行いましょ。

もう一つの取り組みとして、湘南・沖縄部内の各クラブとの合同・協力を進めたいと思えます。どのクラブも人数が少

佐竹ワイズ 今月の聖句について

私たちは、自分中心に物事を考えがちです。調子のいいときには、自分の力を信じ、調子の悪いときには、神様を疑いがちです。でもたとえ、どんなにつらい状況でも、たとえ倒れて起き上がれない時でも神さまは、私の手を握り放さないでいてくださる。希望に満ちた励ましを聖句からいただきました。

<2023年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 8名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 1名 ゲスト 1名 合計 10名	67 % (メーキャ ップ 2名を 含む) 前月修正出 席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<7月の行事予定>

キックオフ

日	曜	時間	行事内容	場所
13	木	18:30	第一例会・総会	中央Y
22	土	15:00	第1回部評議会	とつかY
27	土	17:00	第二例会	Zoom

なくなっていますが、それぞれ、特徴的な素晴らしい活動を行っています。すべて、自クラブで完結するのではなく、それぞれの良いところを共有することを進めたいと思います。その思いで、8月24日の当クラブ納涼例会を各クラブの皆さんにお勧めしているところです。協力・合同するには、早めに取り掛かる必要があります。早めに他クラブの皆さんと相談し、他クラブの企画するバス旅行などに相乗りさせていただきたいとも考えています。

みなさん、楽しんで、できる範囲で、YMCAと地域に仕えていきましょう！

<6月第一例会報告>

秋元 美晴

日時 ; 2023年6月8日(木) 18:30~20:30

場所 ; 中央YMCA+Zoom のハイブリッド

出席者 ; 秋元、大高、古賀、立花、古田 Zoom 参加 ; 伊藤司会 ; 古田ワイズ

1. 開会点鐘及び挨拶 ; 古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 今月の聖句 : 田口ワイズ お祈り : 古田ワイズ
4. 卓話 ; なし
5. ビジネス・報告 : 6月第1回例会資料に基づいて進められた。

行事予定 : 6月~8月までの行事予定

協議・報告事項

- (1) 横浜クラブ総会 : 7月13日(木)18:30~20:00

場所 : 横浜中央Y

7月総会と Zoom の案内は古賀ワイズが、資料は伊藤ワイズがそれぞれ作成

- (2) 8月納涼例会 : 場所 : ロイヤルホール横浜

会費 : 6000円 = 部屋代 + 食事 + 飲み放題

イベント : 富山姫路子さんによるフルート演奏 (伴奏者つき) なお、富山さんは6000円の会費を支払っていただ

くが、伴奏者には5000円を支払い、お食事を提供する。古田さんのご意見 : つるみクラブの久保ワイズもすでに誘っている。Yの職員や留学生をお呼びするのはどうか、その他の方もお誘いしてはどうか。

部屋は参加する人数を伝えれば、ロイヤルホールで選んでくれる。

大高さんのご意見 : 欠席者が出た場合を想定し、申込者よりも少ない人数で申し込むことはできないか。

お誘いした人の会費の徴収などについて、詳細はのちほど決めることとなった。

- (3) YIA 献金の依頼 : 大高ワイズよりご報告あり。

大高ワイズより「2022-23年度横浜クラブ総会資料 第3号議案」についてご報告があった。科目の移動などがあった。リーフレット作成は、東日本区の名刺のQRコードに横浜クラブの案内も入れれば、リーフレットを作らなくとも良いのではという意見があった。

現在、この名刺のQRコードには横浜クラブは入っていないため、入れていただく。このことについては、古賀会長より、担当者に聞いていただくことになった。

- (4) 次年度(2023-24年度)クラブ役員について :

会長 : 古田和彦 副会長 : 秋元美晴 会計 : 大高治 書記 : 古賀健一郎 プリテン担当 : 伊藤誠彦

古田新会長から2023-24年度横浜ワイズメンズクラブ運営方針(案)が提示された。クラブ主題、基本方針、方針実現のための具体的施策として、地域社会への奉仕活動は「寿地区への支援に一本化」してはどうか、部内の他クラブとの合同例会の実施、会員を18名に増やす、東日本区概要を利用したチラシの作成などが提案された。

6. ビジター : 佐藤節子ワイズ (厚木クラブ)

7. ゲスト : 寺田裕子さん、佐藤ワイズの紹介

お二人は7:30頃に参加された。

今後の予定等を確認して、閉会点鐘にて会を終えた。

「第3回部評議会報告」

古田 和彦

1. 開催日時・場所

2023年6月24日(土) 15:00~17:00 於 横浜とつかYMCA1階ホール

2. 委任状を含め過半数の出席により成立
3. 全体司会は部書記の板崎淑子ワイズ(鎌倉)、議事の議長は小松部長
4. 議案とその採決結果

- 1) 第1号議案「湘南・沖縄部会員増強支援規則」

小松部長から次の説明と提案がなされた。

エクステンション委員会が今季(2023年6月末)で終了することに伴い、会員増強・新クラブ設立に対する支援策を、部則施行細則に第4条として追加する。提案内容は次の通り。
①新クラブ設立に際しては部がスポンサーとなり全面的に支援する。②新クラブ設立時の新入会員、及び、既存クラブへの新入会員の入会金は部が負担する。③新クラブ設立の際、初年度予算につき、当該クラブの要望に基づき補助を行う。内容は評議会で決定する。

この提案に対し、制度化することは将来にわたって拘束さ

れるので反対の意見、また、会員増強は喫緊の課題であり、後押しする意味で賛成、規則化するが、規則は状況を見て変える事ができる、との意見があった。採決の結果、賛成多数により可決された。

2) 第2号議案「2023-24年度部長方針と事業計画について」

黒川勝次期部長から次の提案があり、異議なく可決した。

1. 部長主題 初心に帰り、新たな船出に踏み出そう

2. 副題 ワイズメンズクラブはYMCAとともに上記に基づき、基本方針、事業計画が資料により示された。

3) 第3号議案「次期部役員について」

黒川次期部長、次の提案があり、異議なく可決した。

部長 黒川勝 (金沢八景)

次期部長 久保勝昭 (横浜つるみ)

直前部長 小松仲史 (厚木)

事業主査 地域・Yサ 若木一美 (横浜とつか)

会員増強 佐藤節子 (厚木)

国際・交流 大村悠 (金沢八景)

ユース 板崎淑子 (鎌倉)

書記 古田和彦 (横浜) 会計 谷口尚頌 (金沢八景)

監事 辻剛 (横浜つづき)

メネット連絡員 佐藤節子 (厚木)

5. 報告・連絡

1) 部長報告 口頭で年間の活動概要が報告された。

2) 出席事業主査から口頭で報告あり。

3) エクステンション委員会報告 辻委員長から、資料により6年に及ぶ委員会活動の報告がなされた。横浜つるみクラブが誕生したこと、つながりマスク活動、YMCAかわさき保育園での新クラブを目指す活動、絵本の読み聞かせ準備活動などが報告された。なお、かわさき保育園で新クラブを目指す活動、絵本の読み聞かせ活動は、部の会員増強事業主査の下で継続する。

4) 各クラブ活動報告 会の開催状況、会員状況がそれぞれ報告された。当クラブからは、9/1日本語スピーチコンテスト、8/24納涼例会のアピールを行った。

5) YMCA 報告 メネット会から絵本の贈呈があったこと、8/4-6「Aids文化フォーラム」が開催されること、10/14チャリティーラン開催されることが報告された。

6. 監事講評 峯尾監事から、評議会の顔ぶれが固まっているが、新しい人を入れ活性化してほしい、評議会メンバーを各クラブ2名にするなど簡素化してはどうか、監事の任期は1年でどうか、との意見が出された。

7. 当クラブの出席者：古賀、古田 (会場)、大高 (委任状)

『第98回Y-Y's協議会報告』

古賀 健一郎

第98回Y-Y's協議会が6月6日(火)午後7時よりZoomによるオンラインで開かれた。今回は横浜クラブが担当。立花明美クラブ担当主事の司会により聖書朗読(創世記27章41節~28章9節)、祈祷をもって開会礼拝で始められた。

議事は古賀横浜クラブ会長の司会により進められた。先ず佐竹横浜YMCA総主事、次いで小松湘南・沖縄部部長よりご挨拶をいただき、横浜YMCA、ワイズ湘南・沖縄部からの報

告に入った。

【報告】

(1) 横浜YMCA関係

①4月よりの新体制(湘南・沖縄部担当主事・クラブ担当主事)について、佐竹総主事より報告。

《部担当：阿部正伴》《横浜：立花明美(新任)》《鎌倉：三上淳》《横浜とつか：瀬戸俊孝》《厚木：阿部正伴》《金沢八景：宮崎亮》《横浜つづき：鴨下純久》《横浜つるみ：島田徹》

② 東日本区ワイズ担当主事会報告(阿部部担当主事)

6月3日~4日開催されたワイズ東日本区大会に先立ち3日の11時~12時半に東日本区のワイズメンズクラブ担当主事会が開かれた。2022-23年度概要報告。

(YMCA主事を目指す職員の為の)アレキサンダー奨学資金(ASF)とウクライナ支援基金は目標百万円募金達成。トルコ緊急支援募金は短期間にもかかわらず70万円の募金があり、東日本区の資金と合わせて100万円をトルコ関係先に送金。担当主事のマニュアル共有により、ワイズメンズクラブとYMCAの関係、担当主事の役割を確認した。

③ 絵本贈呈プロジェクト報告(阿部部担当主事)

ワイズメネット事業からの絵本贈呈プロジェクトによる絵本贈呈式が(申し込み先の)鎌倉YMCA、金沢八景YMCA保育園、YMCA厚木保育園ホサナで行われた。

④ 第26回横浜YMCA国際チャリティーラン(瀬戸クラブ担当主事)

障がいのある子どもたちを支援するとともに、"障がいへの社会的な理解と関心を高めることを目的とした、YMCA国際チャリティーランは、昨年同様に、オンライン大会(ウォーキングの累計歩数をカウント)とリアル大会(10月14日、会場：臨港パーク特設コース)のハイブリッドで10月14日~30日開催予定。オンライン30チーム、リアル55チームの参加を目指す。

⑤ AID文化フォーラム(阿部部担当主事)

HIV/AIDSに向き合い共に生きる社会を目指すAID文化フォーラムは、今年第31回目で8月4日(金)~6日(日)の3日間開催予定。会場：神奈川県民センター。

⑥ 会員総会報告(佐竹総主事)

・5月27日、2023年度横浜YMCA会員総会が聖光学院ラムネホールの会場とオンラインにて開催。2022年度事業・会計報告、2023年度の活動方針計画と予算についての報告と説明。議決は全て書面決議。

・これまでの素晴らしいご奉仕を覚え、良き模範として記念するための「奉仕の書」には、鈴木茂ワイズ(常議員会議長、横浜つづき)の名が記されることになり、紹介された。

・ユースリーダーによる活動報告があり、ワイズにも活動を支える青少年指導者養成基金への感謝の言葉があった。

(2) ワイズ湘南・沖縄部関係

①7月よりの新体制(ワイズ湘南・沖縄部)について、黒川次期部長より報告。

【部役員】

《部長：黒川勝(金沢八景)》《部書記：古田和彦(横浜)》《部会計：谷口尚頌(金沢八景)》《監事：辻剛(横浜つづき)》《次期部長：久保勝昭(横浜つるみ)》

【各クラブ会長】

《横浜：古田和彦》《鎌倉：千葉裕子》《横浜とつか：吉原訓》《厚木：佐藤節子》《金沢八景：峯尾舜》《横浜つづき：今城 高之》《横浜つるみ：久保 勝昭》

② 2022年度 湘南・沖縄部報告(小松仲史部長)

★2022年度部長方針は、【部長主題 楽しく・元気に・前向きに】(副題「入りたくなるワイズにしよう」)を掲げた。会員減少の現状において、YMCA との関係強化、ボランティア活動、クラブ、部、東西との交流強化の中から、人生を豊かにすることができる素晴らしいワイズメンズクラブを多くの方々に知ってもらうことに力を入れてきた。

★部大会

2022年10月22日(土)湘南とつかYMCAにて開催。

講演「テロ事件に学ぶ命の尊さ」講師 富田 俊彦 先生(日本市民安全学会 副会長・理事。以前は、警察官として「あさま山荘事件」に関わられた。)

★部評議会を7月、11月、今年の6月の3回開催。部報を年2回発行。コロナの影響で新年会は中止とした。

③各ワイズメンズクラブから簡単な報告がされた。特記事項としては、先日の東日本区大会で、横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブが「最優秀クラブ賞」を受賞したとの報告があった。

次回第99回は、鎌倉ワイズメンズクラブが担当で9月5日(火)午後7時(場所未定)に実施することを確認し、閉会した。

「第26回東日本区大会報告」

古賀 健一郎

第26回東日本区大会は、甲府21クラブをホストとして、6月3日・4日、山梨県甲府市近郊にあるAPIO甲府で、前日の大雨で交通機関が乱れる中、約300名の参加者を得て盛大に開催された。テーマは「かふふ・く」。その意味は「甲府・来(甲府に来て、幸せになってもらう)」である。コロナ危機の影響もあって、久々の4年ぶりとなるリアル(対面式)の東日本区大会となった。

(1) 【6月3日(土)】

(13:15~)【オープニングセレモニー】

オープニングセレモニーは、山梨英和高校聖歌隊・ハンドベルの美しい演奏であった。



湘南・沖縄部からの参加者の皆様

(13:35~)【バナーセレモニー】

最初のプログラムは「バナーセレモニー」。東日本区の佐藤重良理事を先頭に、7部の各部長及び59クラブの代表者が、各部およびクラブ旗を掲げてステージに整列する姿は正に壮観で、湘南・沖縄部は小松仲史部長(厚木)を先頭に横浜クラブ古賀健一郎会長と続いた。



バナーセレモニーの様子

(14:00~14:15)【開会宣言・開会点鐘。聖書朗読・祈祷、歓迎の祝辞、来賓祝辞】

佐藤東日本区理事の開会宣言・点鐘にはじまり、来賓の樋口雄一甲府市長、田口努日本YMCA同盟総理事、利根川恵子アジア太平洋地域次期会長、及び、田上正西日本区理事の皆様から祝辞をいただいた。

(14:35~15:10)【メモリアルアワー】

年度内に永眠された13人の方々に偲ぶひと時、「メモリアルアワー」。心に響くナレーションに、それぞれの方々のワイズでのお働きに耳を傾け、黙祷を捧げることができたことは感謝であった。今年2月急逝された日下部美幸ワイズ(鎌倉クラブ)も含まれていた。

(15:15~16:20)【理事報告、代議員会布告、部長報告、事業主任報告、ワイズメネット報告】

佐藤理事より今年度の区総括としての理事報告、長谷川代議員会議長の代議員会報告と続き、7部長、区事業主任、及び、ワイズメネット委員長の年度締めくくりの報告があった。

(16:30~17:25)【石丸謙二郎さん講演】

今大会の講演は「世界の車窓から」(テレビ朝日系)ナレーション担当(2016年から1万回達成)の石丸謙二郎氏。下記は彼の紹介のメッセージから>

「わたしは、ワイズメンのボランティアに対する考え方が、非常に自分の普段の考え方に近いものだと思う。常日頃から、こうすれば人は気持ちよく過ごせるだろうとか、他人の家までも掃除してあげるとか、してあげたい気持ちばかりが浮かんでくる。特に山や海で遊ぶことの多い私で、一人ではできない事ばかり。そんな時、皆んなの手を借り、皆んなで何かを成し遂げる事に喜びを感じている。おそらく子どもの頃に、大分県の田舎で育ち、多くの人から、「してあげたい精神」を学んだと思う。」

(17:30~18:25)【ユースアワー】

「ユース活動報告」「松本クラブ支援留学生報告」があり、ワイズメンとしてのYMCA支援の大切さが伝わってきた。

(18:45~20:30)【晩餐会】

多くの参加者が大変楽しみしていた、初日のメインイベントの「晩餐会」。晩餐会はさまざまな食材での美味しい料理

を賞味しながら、ステージでは楽しい出し物が披露され、参加者の皆様と、クラブ、部を超えて、大変楽しい歓談の時があった。



同じテーブルでご一緒した東京、横浜、所沢、甲府 21、長野、伊達クラブの皆様と

★ワイズ入会のきっかけ、YMCA と協働のことなど、さまざまな話題で楽しくお話ができた。

アピールタイムとして、最初に第 30 回ア

ジア太平洋地域大会 in 香港の大会、次に第 27 回西日本区大会のアピール、そして熱海クラブのチャーター60 周年記念例会、そして 第 27 回東日本区大会(十勝)のアピールがあった。

② 【6月4日(日)】

二日目の6月4日は、前日とは打って変わって、大変良い天気になった。

(8:15~8:55)【日曜礼拝】

説教「復活の主との出会い」(宍戸俊介牧師(愛宕町教会牧師))

使徒言行録 9:1~5、第一コリント 15:3~8

宍戸牧師は、「ここまでキリスト信者を迫害しキリストに敵対してきたサウロは、生きておられる復活の主に出会い、徹底的に打ち砕かれた。人間の命を奪ってまで貫こうとしていた傲慢不遜な人間は、生けるキリストによって打ちのめされ、新しく生まれ変わる道がサウロに備えられた。サウロは目を開かれ、キリストによって導かれる信仰の世界に生きる人間へと変わっていった。皆様の今日の会の上に、これからのそれぞれのお働きの上に、主が共に歩んで下さり、み言葉が語りかけられ、主の憐みと慈しみが豊かに与えられ支えられますように…」とお祈りされた。

(09:00~09:50)[表彰式]

(事業表彰、奈良傳賞、理事表彰)

2022-2023 年度東日本区表彰では、横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブが、理事表彰として、「最優秀クラブ賞」を受賞した。湘南・沖縄部の仲間として、心からお祝い申し上げたい。



最優秀クラブ賞を受賞した横浜つづきクラブの皆様

(活動内容)TKB(ツツキ・カワイイ・バーチャンズお仕事会)の高齢者施設と保育所へのお誕生日カードのお届

け/ウクライナ避難民の方々への手編みマフラーの送付/You&I コンサートの再開など...

(09:55~11:06)【理事就任式・引継ぎ式、役員引継ぎ式】理事就任式・引継ぎ式そして役員等の引継ぎ式と、司式者の利根川アジア太平洋地域会長代理および司会の宮内友弥(元)理事の進行が、滞りなく厳粛に遂行された。

(11:10~11:40)【閉会式】

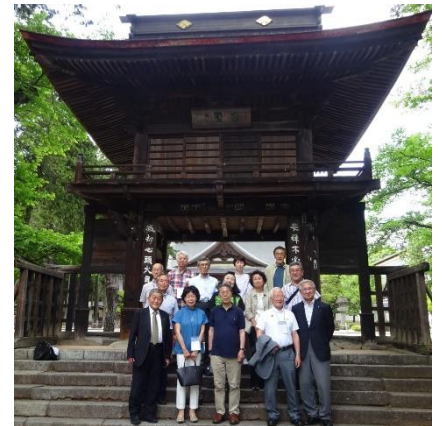
閉会式では、佐藤理事の締めくくりのご挨拶をお聴きした。「未来に向けて今すぐ行動しよう」そして「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」との主題とスローガンを、この一年間着実に実行されたそのご尽力に、深く感謝の意を表したい。大会旗が、甲府 21 クラブから十勝クラブへ引き継がれ、東日本区大会の幕を閉じた。

(11:45~17:30)

【オプションプログラムとしてエクスカージョン(観光)コースのBコースを古賀選択】

《勝沼ワイナリー(昼食・バーベキュー)~武田信玄菩提寺・恵林寺~桔梗信玄餅工場》”甲斐の国を巡る”Bコースで、(私が)最大の関心をもって訪れた恵林寺。

武田信玄の菩提寺の恵林寺。特に三門に掲げられた快川和尚の遺偈「安禅不必須山水、滅却心頭火自涼」に深い歴史の重みを感じながら、一方で温かみのあるワイズの皆様の笑顔の写真は、まさしく”ナイスショット”であった。



【最後に】

(前述した)プライベートでは多趣味な石丸謙二郎氏。65歳から始めた墨絵、ピアノ...も新たな日々の楽しみに加わっている。「NEVER TOO LATE!」(何事も遅すぎることはない!)の言葉を講演で強調された。

佐藤重良日本区理事が 2022 年度のスローガンで掲げられた「誰かのために奉仕して、自分のための楽しいクラブライフを！」をしっかりと心に留めながら、ワイズの楽しく、豊かな交わりを通して、皆で協力し合って、一つ一つの小さな行動の積み重ねから、「心豊かな平和な社会」を築いていきたいと思う。今からでも NEVER TOO LATE!

そして、佐藤理事の【皆様、ようこそ 甲斐の国へ】のメッセージの最後に記された「来た 甲斐が、あったね。」の言葉に、「まさしく、そう実感しました！」との感想をもって、本報告を終えたい。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時 ; 6月22日(火) 17:00~18:30 (Zoom開催)

出席者 ; 秋元、伊藤、大高、古賀、立花、古田

1. 行事予定の確認

資料に基づき6月~8月の行事予定の確認

2. 協議・報告事項

(1) 7月例会

7月第一例会は横浜クラブの2022-23年度クラブ総会とすることを確認

(2) 8月例会(納涼会)

古田次期会長より8月納涼例会の収支予想について、会費6,000円、ゲスト会費3,000円とすると、富山姫路子さんのフルート演奏の伴奏に会場のピアノ(使用料、20,000円)を借りなくてはならないなど、大幅な赤字になることが懸念されると状況説明があった。それでも是とする意見が多数出た。

(3) 日本語スピーチコンテスト

立花担当主事より、9月1日に実施予定のスピーチコンテストについて説明があった。今回で10回目を迎える。参加予定者は12名。場所は9階チャペル。因みに、第一回は2014年2月21日、参加者8名、場所は9階チャペルでした。

(4) 大高会計より、今年度会計収支の状況、及び、次年度予算案の説明があった。



担当主事 立花 明美

6月に入り、寿町の炊き出しボランティアや常盤町町内会清掃活動のほか専門学校では授業後に学生と専任講師で臨床実習前の準備を実習室で行ったりしていました。健康教育部では体操のワッペンテストも行われ、夏期講習会の準備も進められています。

まだ夏には早いですが既に30℃を超える日が増えています。皆さんの健康が保たれるよう願っています。

- ・6月1日(木)常盤町町内会清掃活動
- ・6月3日(土)、4日(日)第26回東日本地区ワイズ大会参加
- ・6月7日(水)こども食堂
- ・6月10日(土)専門学校オープンキャンパス
- ・6月14日(水)グローバルキンダーガーデン遠足
- ・6月20日(火)アフタースクール 2024年度新入会個別説明
- ・6月21日(水)体操ワッペンテスト週間(~27日)
- ・6月23日(金)寿町 炊き出し活動
- ・6月29日(木)常盤町町内会清掃活動

7月1日~7日は横浜YMCA安全週間となっています。今年度は7月3日に「不審者対応について」全体研修をオンラインで行う予定です。その他各事業では夏期講習会が開始されます。

7月例会プログラム

日時 : 7月13日(木) 18:30~20:30

場所 : 中央Y+Zoom

司会 : 秋元ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
3. 今月の聖句.....佐竹ワイズ
4. ゲスト・ビジターの紹介.....古田会長
5. 部長公式訪問、挨拶.....黒川部長
6. 総会
議長選出と定足数の確認
議案の審議
第1号議案 22-23年度事業結果報告
事業報告、会員異動、例会出席、評価
第2号議案 22-23年度各事業委員報告
地域奉仕事業
会員増強事業
国際・交流事業
ユース事業
第3号議案 22-23年度会計報告
第4号議案 23-24年度クラブ役員、事業委員の確認
第5号議案 23-24年度活動方針と事業計画
第6号議案 23-24年度予算案
7. キックオフ例会
ビジネス・報告
8. Happy Birthday 該当なし
9. 閉会点鐘

例会報告 : 秋元ワイズ

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
4-6			エイズ文化フォーラム	神奈川県民センター
17	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
24	木	18:00	横浜クラブ第一例会納涼会	ロイヤルホール横浜

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080